

## 来日前

私はインドネシアの北スマトラ州政府に属し地方自治体が所有するタータナディ水道地域会社の研究室に水質検査技術主任及び生産部の特別職として勤務していました。

私達の研究室は2010年に水質検査のためのISO17025試験所及び校正機関の能力に関する一般要求事項の認定を取得しております。

今回、幸運にも神奈川県招聘海外技術研修員として、水の浄化システムと水質検査について学ぶ好機を得ました。

## 特別研修について

最初は、高座郡寒川町にある水道水質センターで研修しました。このセンターは、日本水道協会によりGood Laboratory Practice(GLP)に認定されています。日本の厚生労働省基準の51項目の水質検査基準項目と50項目の追加項目、寒川浄水場や他の烏屋浄水場などの小型浄水場や長野浄水場などの取水地での採水方法を学びました。また、微生物学や物理化学的検査、寒川浄水場や谷ヶ原浄水場水源の特徴などについても学びました。

2015年の秋、日本水道協会の国際会議に出席しました。最も興味があったのは、中之菌賢治氏(JECK)の講演で、配水管での水量減を削減するのを支援する目的でタータナディ水道会社にあるJICA計画についてのものでした。

その後、急速砂ろ過や水源管理システム、制御・監視システム、水道水分配システムなどの勉強のために神奈川県寒川浄水プラントに移動しました。谷ヶ原浄水場でも研修しました。汚泥処理施設について勉強しました。

微生物検査も研修しました。大腸菌と一般細菌数の2種類の微生物検査法があります。これらの検査が源水の水質指標となり、浄水場で塩素注入の指標となります。水道水質センターでは、異好抗菌、腸球菌、好気性芽胞生成菌、嫌気性芽胞形性菌、ウエルシュ菌、大腸菌群などの微生物検査も教えて頂きました。



寒川浄水場

水道水理センターで、ICP-MS(Inductively Coupled Plasma-Mass Spectrometry)を使用するの重金属テスト、イオンクロマトグラフィーを使用するのアニオンや、カチオン性物質試験、固相マイクロ抽出GC-MS(Gas Chromatography-Mass Spectrometry)を使用するのジエオスミン(雨の降った後の地面の匂い)と2-メチルイソボルネオール(黴臭)のテスト、個相抽出 HPLC(High Performance Liquid Chromatography)を使用するのアルキル-ベンゼンスルホン酸、パーシトラップ GC-MSを使用するの揮発性有機化合物試験などの化学試験についても学びました。

神奈川県公共企業庁は各種の浄化技術を使用する小型浄水場も数か所所有しています。同庁は、水力発電所のために揚水貯

水システムを採用する日本で唯一の公企業で、城山ダムからの水力を使用して発電しています。私は神奈川県水道局の職員に同行して、ダム(三保ダムと玄倉ダム)の管理や愛川太陽光発電所、横浜水道局所有の西谷浄水場や川井浄水場、海老名市にある神奈川給水所、横須賀市の有馬浄水場、川崎市の長沢浄水場、埼玉県朝霞浄水場、東京都水道局の研修開発センターなどを訪問しました。



東京都水道局

また、山梨県にある忍野八海や河口湖も見学しました。

## 帰国後の予定

私は生産部の特別職員として、水の浄化装置監視システムと研究室の改善を推進する義務を持っています。まず、GLPの研修計画を組織します。その後、砂濾過システムとその沈殿物についての私の知識を応用するために何ヶ所かの水浄化施設の長と協働します。

水道システムについて、日本は勉強するのに最適な場所です。今まで、私の会社は、愛知県の豊橋浄水場の水と排水研修システムを採用しています。私達の職員の何人かはそこで研修を受けています。私は、私達の職員に神奈川県の計画による海外研修員計画を推進し続けるでしょう。

## 日本に住んだ私の経験

私は、映画「おしん」の影響を受けました。強く開放的な日本人婦人としてのおしんの性格に勇気づけられました。

ここ日本、特に神奈川県の生活は興味深いものです。

2015年9月には、私と他のムスリム研修員達はムスリムとして2番目に大きな祝日にあたるIdul Adhaを祝うためにあざみ野にあるモスクを訪問しました。ここ横浜にモスクがあるとは素晴らしい。

## 謝辞

神奈川県招聘海外技術研修員として、私を招聘して下さいました神奈川県庁関係者に深く感謝します。本計画を私に知らせて頂いた中之菌賢治さん、研修機会を得るために私をJECKに紹介して頂いたWaQuAC-Net、神奈川県に推薦し事務手続きなどで奔走して頂いたJECK(JICA帰国専門家連絡会かながわ)の皆様にも深くお礼を申し上げます。水質管理センターの皆さんに感謝します。皆さんは文化や食物などが知りたがっている事柄や日本の特異な習慣などについて私が良く理解できるように気持ち良く私を助けて頂きました。寒川浄水場と谷ヶ原浄水場の皆様にも感謝致します。3泊の京都観光を準備して頂いた神奈川県に感謝します。

本海外研修計画は非常に良く素晴らしいものです。今後も、海外の技術者が日本の新たな見識と作業体系の研修を受け続けることが出来ることを希望します。ムスリムにとって快適で、安全で、教育を受けられる場所として日本を強く推奨致します。このような機会を頂き有難うございました。

\*シティ ザイナブ ルビスさんの英文報告書を、植岡龍太郎会員が翻訳し、工藤真也会員が専門用語を監修し、大平一昭会員が会報用に要約・編集した。

【編集後記】「元寇は、本質的には侵略目的の物ではなかった。」という、今村遼平博士の講演は興味深い。勿論異論はあるだろうし、JECKとしては、支持も反論もしない。個人的には、日本に南宋人を植民する目的なら、侵略と考えて当然と思う。しかし、[2国間の友好の為に、両国の歴史についての正しい相互理解が必要である。]との意見は、傾聴すべきである。夏季フォーラムに関して、阿部、中泉、金澤の3氏に寄稿して頂いた。国際協力と国益、日本国内における国際交流、先進国から途上国への援助という構図が崩れている、途上国から学ぶところも多い、開発途上国でなぜ経済規制が必要なのか、高等教育に対する援助等フォーラムでの議論を超えた内容に注目して頂きたい。海外技術研修員もシティ・ザイナブ・ルビスさんが帰国した。日本での研修が、ルビスさんとインドネシアの為に役立つことを期待している。

## JICA帰国専門家連絡会かながわ会報 第26号

【発行】2016年3月31日 【発行者】JICA帰国専門家連絡会かながわ(JECK) 【編集委員会】植岡 龍太郎(編集責任) 大平一昭 佐藤 満寿哉 小泉 由紀子  
 【事務局】横浜市中区新港2-3-1 JICA横浜国際センター3F URL : <http://www.jeck.jp/> 事務局長 内倉 和雄 e-mail: [uchikura.kazuo@nifty.ne.jp](mailto:uchikura.kazuo@nifty.ne.jp)  
 【印刷】(株)横浜リテラ 横浜市戸塚区上矢部町1965-4 URL : <http://www.yokohamalitera.com/> e-mail : [info@yokohamalitera.co.jp](mailto:info@yokohamalitera.co.jp)